

令和元年10月臨時会 企画財政委員会の概要

日時 令和元年10月31日(木) 開会 午後 1時 3分
閉会 午後 2時 7分

場所 第1委員会室

出席委員 横川雅也委員長

美田宗亮副委員長

渡辺大委員、須賀敬史委員、齊藤邦明委員、田村琢実委員、長峰宏芳委員、
金野桃子委員、松坂喜浩委員、水村篤弘委員、西山淳次委員、秋山文和委員

欠席委員 なし

説明者 石川英寛企画財政部長、堀光敦史政策・財務局長、石井貴司地域経営局長、
山口均参与、廣川達郎参事兼財政課長、犬飼典久企画総務課長

上木雄二会計管理者、島田繁出納総務課長

飯塚寛監査事務局長、渡邊哲監査事務局副事務局長兼監査第一課長

会議に付した事件並びに審査結果

1 議案

議案番号	件名	結果
第101号	令和元年度埼玉県一般会計補正予算(第4号)	原案可決

【付託議案に対する質疑】

渡辺委員

- 1 豚コレラワクチンに係る手数料について、初回接種を免除することのだが、県歳入への影響額はどの程度あるのか。仮に、免除しなかった場合の手数料収入はどの程度なのか。
- 2 台風第19号に係る補正予算が計上されているが、河川や道路などの災害復旧に係る予算措置はどうするのか。

参事兼財政課長

- 1 初回接種を免除する場合の歳入への影響については、約2,500万円の減収を見込んでいる。また、免除しなかった場合の手数料収入については、約4,300万円の見込みである。
- 2 今回補正予算を計上していない道路や河川などの生活に不可欠なインフラの災害復旧については、現在、全庁を挙げて被害状況等の詳細な把握に努めているところである。必要な災害復旧の費用の算定作業については、可能な限り早急に行い、早期の予算措置を講じるため、引き続きしっかりと進めていく。

田村委員

豚コレラの対応については、防疫や処分などに必要な人員を庁内の各課に対して応援要請し、職員が現場に出向いて対応しており、とても評価している。一方で、現場で使用する防護服のサイズが175センチ以下とそれ以上の2種類に限られ、長靴もサイズが27センチと28センチの2種類しかなく、それより足の大きい人も、小さい人も全然対応できていない状況と聞いた。職員は各自が抱える仕事が忙しい中で手伝いに行っているが、現場がそんな状況の中で応援をさせているのはいかがか。これに対応する予算的な措置は考えているのか。防護服や長靴の種類をもっと増やすなどできないのか。

参事兼財政課長

防疫作業に必要な予算については、適切な見積もりを立てた上で、許容範囲の中で必要なものを選択して購入できるようになっている。御指摘については担当部局に伝え、どうしてそのような調達になっているのかを確認するとともに、きめ細かに用意ができるようにし、現場の対応ができるように努めていく。

田村委員

現場対応している人の声をしっかりと聞き取って対応していただきたい。(意見)